

国土数值情報(災害危険区域)

製品仕様書

第 1.2.1 版

令和 8 年 8 月

国土交通省 政策統括官付 地理空間情報課

【改定履歴】

版	更新日	改定内容
第 1.0 版	2020 年 11 月	初版
第 1.1 版	2021 年 3 月	データタイプを面、点データに変更
第 1.2 版	2021 年 11 月	告示年月日の項目を数値型から日付型に変更
第 1.2.1 版	2026 年 8 月	符号化仕様の修正

目次

1.	概覧	1
1.1.	空間データ製品仕様書の作成情報.....	1
1.2.	目的	1
1.3.	適用範囲	1
1.4.	引用規格	1
1.5.	用語と定義	2
1.6.	略語	2
1.7.	参考資料	2
2.	適用範囲	2
2.1.	適用範囲識別.....	2
2.2.	階層レベル.....	2
3.	データ製品識別	3
4.	データ内容および構造.....	3
4.1.	応用スキーマクラス図および応用スキーマ文書	3
4.1.1	国土数値情報応用スキーマパッケージ	3
4.1.2	指定地域パッケージ.....	4
4.1.3	災害危険区域パッケージ.....	5
4.1.4	共通パッケージ.....	10
4.2.	空間スキーマプロファイル	10
4.3.	時間スキーマプロファイル	10
5.	参照系	10
5.1.	座標参照系	10
5.2.	時間参照系	10
6.	データ品質	11
6.1.	品質要求及び評価手順.....	11
7.	データ製品配布	13
7.1.	配布書式情報.....	13
7.2.	配布媒体情報.....	13
8.	メタデータ.....	13
1.	符号化仕様作成のためのタグー覧	1
2.	符号化仕様	1

1. 概覧

1.1. 空間データ製品仕様書の作成情報

本製品仕様書の作成に関する情報は以下のとおりとする。

- 空間データ製品仕様書の題名：国土数値情報(災害危険区域)製品仕様書 第 1.2.1 版
- 日付：2026 年 8 月
- 作成者：国土交通省 政策統括官付 地理空間情報課
- 言語：日本語
- 分野：指定地域
- 文書書式：PDF

1.2. 目的

本製品仕様書に基づく国土数値情報データは、国土形成計画、国土利用計画などの国土計画の策定や土地・不動産施策の実施等を支援することを目的としたものであるが、各分野で広く利用されることも想定している。

1.3. 適用範囲

本製品仕様書が適用されるデータの適用範囲は以下のとおりである。

- 空間範囲：日本全国
- 時間範囲：本製品仕様書に基づき作成されるデータの作成年度まで

1.4. 引用規格

本製品仕様書は以下の規格から引用する。

- 地理情報標準プロファイル(JPGIS)2014 令和元年 7 月

1.5. 用語と定義

本製品仕様書で使用される専門用語とその定義は、以下の資料に従う。

- 地理情報標準プロファイル(JPGIS) 2014「付属書 5(規定)定義」
- 国土交通省国土政策局国土情報課 GIS ホームページ ガイダンス
URL: <https://www.mlit.go.jp/kokudoseisaku/gis/guidance/index.html>

1.6. 略語

本製品仕様書で使用される略語は、以下のとおりとする。

- | | |
|---------|--|
| ■ JPGIS | Japan Profile for Geographic Information Standards |
| ■ JMP | Japan Metadata Profile |
| ■ UML | Unified Modeling Language |

1.7. 参考資料

国土数値情報で使用されるコードリスト等については、以下のサイトを参照。

国土数値情報ダウンロードサービス

URL: <https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/>

2. 適用範囲

本製品仕様書の適用範囲は次のとおりとする。

2.1. 適用範囲識別

国土数値情報(災害危険区域)製品仕様書 第 1.2.1 版適用範囲

2.2. 階層レベル

データ集合

3. データ製品識別

本製品仕様書に基づくデータ製品の識別は、次のとおりとする。

- 空間データ製品の名称:国土数値情報(災害危険区域)データ
- 日付:2022 年 3 月 18 日
- 問い合わせ先:国土情報提供サイト運営事務局
<https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/inquiry.html>
- 地理記述:全国

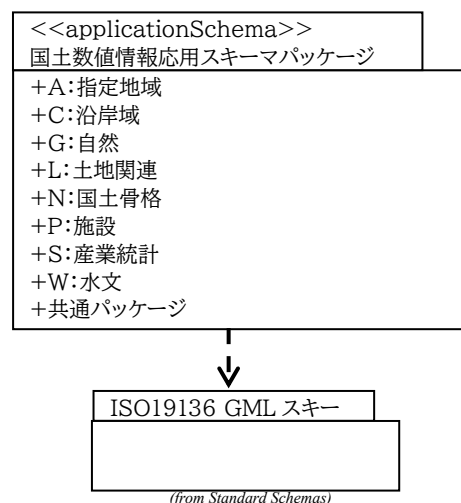
4. データ内容および構造

本章では、本製品仕様書が扱う国土数値情報に関する UML クラス図および定義文書を記す。

4.1. 応用スキーマクラス図および応用スキーマ文書

4.1.1 国土数値情報応用スキーマパッケージ

このパッケージは、国土数値情報応用スキーマを構成する各パッケージの依存関係を示したものである。国土数値情報応用スキーマは、国土数値情報データ集合パッケージおよび、国土数値情報応用スキーマで共通に使用するコードリスト等をまとめた共通パッケージより構成される。国土数値情報応用スキーマに含まれる地物およびメッシュは、施設や沿岸域等のカテゴリにおいて定義される。



4.1.2 指定地域パッケージ

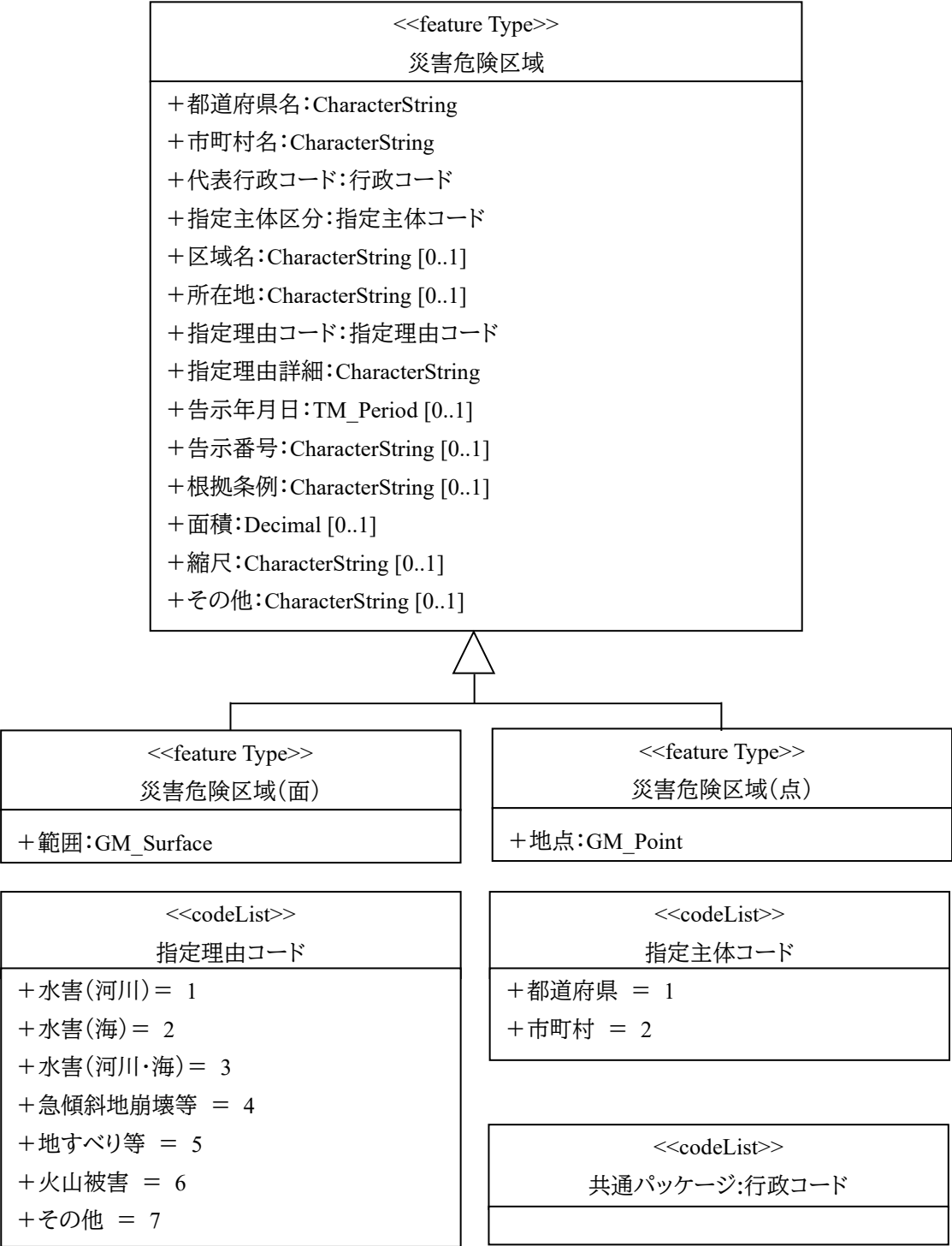
このパッケージは、指定地域に関するパッケージをまとめたものである。

指定地域パッケージ			
A02: 指定地域メッシュ	A03: 三大都市圏計画区域	A05: 森林・国有地メッシュ	A07: リゾート法指定地域
A09: 都市地域	A10: 自然公園地域	A11: 自然保全地域	A12: 農業地域
A13: 森林地域	A15: 鳥獣保護区	A16: 人口集中地区	A17: 過疎地域
A18: 半島振興対策実施地域	A19: 離島振興対策実施地域	A20: 奄美群島	A21: 小笠原諸島
A22: 豪雪地帯	A23: 特殊土壌地帯	A24: 振興山村	A25: 特定農山村地域
A26: 土砂災害危険箇所	A27: 小学校区	A28: 世界自然遺産	A29: 用途地域
A30a5: 土砂災害・雪崩メッシュ	A30b: 竜巻等の突風	A31: 洪水浸水想定区域	A32: 中学校区
A33: 土砂災害警戒区域	A34: 世界文化遺産	A35a: 景観計画区域	A35b: 景観地区・準景観地区
A35c: 景観重要建造物・樹木	A37: 半島循環道路	A38: 医療圏	A39: 密集市街地
A40: 津波浸水想定	A42: 歴史的風土保存区域	A43: 伝統的建造物群保存地区	A45: 国有林野
A46: 地すべり防止区域	A47: 急傾斜地崩壊危険区域	A48: 災害危険区域	A49: 高潮浸水想定区域

4.1.3 災害危険区域パッケージ

このパッケージは、災害危険区域に関する内容をまとめたものである。

4.1.3.1. 応用スキーマクラス図



4.1.3.2. 応用スキーマ文書

災害危険区域

災害危険区域は、地方公共団体が「建築基準法第 39 条」の規定に基づき指定した区域である。データ作成の原典資料を以下に示す。なお、時点は原則として最新データを使用する。

・地方公共団体から収集した「災害危険区域資料」

上位クラス:国土数値情報地物

抽象／具象区分:抽象

属性

都道府県名:CharacterString

災害危険区域が存在する地方公共団体が所属する都道府県名称。

■ 定義域

実在する都道府県名。

市町村名:CharacterString

災害危険区域が存在する地方公共団体の市町村名称。政令指定都市の場合は、市の名称まで入力する。災害危険区域が複数の市町村にまたがる場合には、全ての市町村名をそれぞれ半角カンマで区切って記載する。

■ 定義域

実在する市町村名。

代表行政コード:行政コード

災害危険区域が存在する地方公共団体を示すコードで、都道府県コードと市町村コードからなる、行政区を特定するための 5 桁のコード。災害危険区域が複数の市町村にまたがる場合には、代表地点として最も値の小さい行政コードを記載する。

例) 北海道札幌市の場合 01100

■ 定義域

「行政コード」の取りうる値。

指定主体区分:指定主体コード

災害危険区域を指定した地方公共団体の区分を示すコード。

■ 定義域

「指定主体コード」の取りうる値。

「指定主体コード」の内容

コード	定義
1	都道府県
2	市町村

区域名 [0..1]:CharacterString

地方公共団体が付与した災害危険区域を示す名称。なお、原典資料において区域が○印(概ねの位置)で示されている等、位置の正確さに欠ける場合には、先頭に「※」(米印)を記載する。

所在地 [0..1]:CharacterString

原典資料に示されている所在地。字名などが複数列記されている場合は半角カンマ区切りで記す。なお、文字数が 127 文字(254 バイト)を超える場合は、最後に「*」(半角スペース+半角アスタリスク)を記載し、別途参照ファイルに全文を記載する。

但し、原点資料通りに記載するため、指定当時の市区町村名が入力される場合がある。

指定理由コード:指定理由コード

災害危険区域を指定した理由を示すコード。

■ 定義域

「指定理由コード」の取りうる値。

「指定理由コード」の内容

コード	定義
1	水害(河川)
2	水害(海)
3	水害(河川・海)
4	急傾斜地崩壊等
5	地すべり等
6	火山被害
7	その他

指定理由詳細:CharacterString

災害危険区域を指定した理由。複数記載を可とし、半角カンマで区切って入力する。

■ 定義域

「指定理由詳細」の取りうる値。

指定理由コードと指定理由詳細の対応

指定理由コード		指定理由詳細
コード	定義	
1	水害(河川)	出水
2	水害(海)	津波、高潮
3	水害(河川・海)	津波、高潮、出水
4	急傾斜地崩壊等	急傾斜地崩壊、がけ崩れ、山崩れ
5	地すべり等	地すべり、なだれ、土石流
6	火山被害	溶岩流、泥流・噴石
7	その他	河岸浸食、落石、地盤変動、地盤沈下

告示年月日 [0..1]:TM_Period

災害危険区域を告示した日の日付を YYYYMMDD 形式で記載した値。区域の追加指定が行われた場合等、1 つの指定区域に対し複数の告示年月日がある場合には、最新の告示年月日を記載する。但し、既存の急傾斜地崩壊危険区域と同一の範囲を災害危険区域に指定している場合には、急傾斜地危険区域の告示年月日が入力される場合がある。

告示年月日については公示図書に記載がない場合も多いため、記載がない場合は、9999/01/01 として入力する。

告示番号 [0..1]:CharacterString

災害危険区域を告示した公告番号。区域の追加指定が行われた場合等、1 つの指定区域に対し複数の告示番号がある場合は、最新の告示番号を記載する。但し、既存の急傾斜地崩壊危険区域と同一の範囲を災害危険区域に指定している場合には、急傾斜地危険区域の告示番号が入力される場合がある。その際は告示番号の末尾に「(急傾斜)」と記載する。告示番号が不明の場合は不要。

根拠条例 [0..1]:CharacterString

災害危険区域を指定した根拠となる条例の条例番号及び条例名称。根拠条例が不明の場合は不要。

面積 [0..1]:Decimal

災害危険区域の面積(単位:ha)。面積不詳の場合は不要。同一の区域名及び告示年月日で複数の箇所が指定されている場合、合算値が記載されることがある。

縮尺 [0..1]:CharacterString

災害危険区域の図形データの精度を示すための、参照図面の縮尺。参照図面の縮尺が不明な場合は不要。

その他 [0..1]:CharacterString

出水等の指定理由で、第1種区域、第2種区域等の区分がある場合には、種別ごとに入力を行う。また、参照資料等に災害危険基準高(計画高水位)に関する記載がある場合には、基準面及び高さの入力を行う。

なお、種別は各地方公共団体で定めたものであり、統一的な基準に基づいて定められたものではない。

災害危険区域(面)

災害危険区域(面)とは、災害危険区域の範囲を示す面情報

上位クラス:災害危険区域

抽象/具象区分:具象

属性

範囲:GM_Surface

災害危険区域の範囲。

災害危険区域(点)

災害危険区域(点)とは、災害危険区域の位置を示す点情報

上位クラス:災害危険区域

抽象/具象区分:具象

属性

範囲:GM_Point

災害危険区域の位置。

4.1.4 共通パッケージ

このパッケージは、国土数値情報応用スキーマで共通に使用するコードリストをまとめたものである。

4.2. 空間スキーマプロファイル

国土数値情報の空間スキーマプロファイルは「地理情報標準プロファイル(JPGIS) 2014 空間スキーマ」を採用する。

4.3. 時間スキーマプロファイル

国土数値情報の時間スキーマプロファイルは「地理情報標準プロファイル(JPGIS) 2014 時間スキーマ」を採用する。

5. 参照系

5.1. 座標参照系

参照系識別子:JGD2011/(B,L)

5.2. 時間参照系

参照系識別子:GC/JST

6. データ品質

6.1. 品質要求及び評価手順

データ品質要素／副要素	完全性・過剰
データ品質適用範囲	パッケージごと
データ品質評価尺度	データ集合内に、原典資料が示す地物と対応関係がとれない地物が存在すれば、それを過剰なデータとカウントする。 また、データ集合内に同一の地物インスタンスが重複して存在する場合、本体を除き、重複している余分なデータの個数をエラーとしてカウントする。 誤率(%)=(過剰なデータ数／原典資料に含まれるデータ総数)×100
データ品質評価手法	原典資料との比較による全数検査を実施する。
適合品質水準	過剰データの割合:0%

データ品質要素／副要素	完全性・漏れ
データ品質適用範囲	パッケージごと
データ品質評価尺度	データ集合内に、原典資料と対応する地物データが存在しない場合、それをデータの漏れとカウントする。 誤率(%)=(漏れのデータ数／原典資料に含まれるデータ総数)×100
データ品質評価手法	原典資料との比較による全数検査を実施する。
適合品質水準	データの漏れの割合:0%

データ品質要素／副要素	論理一貫性・書式一貫性
データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	データ集合の書式が、整形式となっていない箇所(XML 文書の構文として正しくない箇所)の割合を計算する。
データ品質評価手法	検査プログラム(XML パーサなど)による全数検査を実施する。
適合品質水準	誤率:0%

データ品質要素／副要素	論理一貫性・概念一貫性
データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	符号化仕様が規定する XML スキーマに対する、データ集合に存在する矛盾の割合を計算する。
データ品質評価手法	検査プログラム(XML バリデータなど)による全数検査を実施する。
適合品質水準	誤率:0%

データ品質要素／副要素	論理一貫性・定義域一貫性
データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	地物属性の値が、応用スキーマが規定する定義域に含まれていない場合、その個数をエラーとしてカウントする。 誤率(%)=(定義域の範囲外にある値を持つ地物属性の数／データ集合内の地物属性の総数)×100
データ品質評価手法	検査プログラムによる全数検査を実施する。
適合品質水準	誤率:0%

データ品質要素／副要素	論理一貫性・位相一貫性
データ品質適用範囲	ポリゴンデータ
データ品質評価尺度	データ集合が持つ位相属性および位相を含む幾何属性の一貫性を検査し、エラーの割合(誤率)を計算する。 誤率(%)=(位相一貫性のエラーの数／検査対象のアイテムの総数)×100
データ品質評価手法	検査プログラムによる全数検査を実施する。
適合品質水準	誤率:0%

データ品質要素／副要素	位置正確度・絶対正確度
データ品質適用範囲	パッケージごと
データ品質評価尺度	原典資料が地図であるものに関して、地図と原典資料、背景図(地理院地図)を画面上で原典資料の縮尺で重ねて表示し、位置のズレの最大値を測定する。
データ品質評価手法	全数検査を実施する。
適合品質水準	図上 0.3mm 以内

データ品質要素／副要素	位置正確度・絶対正確度
データ品質適用範囲	パッケージごと
データ品質評価尺度	原典資料が地図で、原典資料から区域、形状が確定できないものに関して、地図と原典資料、背景図(地理院地図)を画面上で原典資料の縮尺で重ねて表示し、位置のズレの最大値を測定する。
データ品質評価手法	原典資料との比較による全数検査を実施する。
適合品質水準	図上 1mm 以内

品質要素	時間正確度・時間測定正確度
データ品質適用範囲	パッケージごと
データ品質評価尺度	データ集合に記録された時間と、参照データ("原典資料名"に記載された資料)の時間と比較し、データ集合中に記録された時間のエラーの個数を数える。
データ品質評価手法	全数検査を実施する。
適合品質水準	誤差:0 日(又は 0 月、0 年)

データ品質要素／副要素	主題正確度・非定量的主題属性の正しさ
データ品質適用範囲	パッケージごと
データ品質評価尺度	地物属性を原典資料と比較し、原典資料に記載されている内容と一致しない地物属性の割合を算出する。 誤率(%)=(内容が一致しない地物属性の数／地物属性の総数)×100
データ品質評価手法	全数検査を実施する。
適合品質水準	誤率:0%

7. データ製品配布

7.1. 配布書式情報

■ 書式名称

JPGIS 2014 附属書 12(規定)(地理マーク付け言語(GML))

■ 符号化仕様

国土数値情報応用スキーマの XML Schema は、JPGIS 2014 附属書 12 の符号化規則に従う。また、国土数値情報応用スキーマが参照する基本データ型スキーマ、空間スキーマ、時間スキーマ等の標準スキーマの XML Schema は、次の URL に掲載されている XML Schema を使用する。

<http://schemas.opengis.net/gml/3.2.1/>

国土数値情報(災害危険区域)応用スキーマで使用する名前空間および名前空間接頭辞は次のとおりとし、XML Schema は、付属資料参照のこと。

名前空間:<https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/jpgis/xsd/KsjAppSchema.xsd>

名前空間接頭辞:ksj

■ 文字集合

UTF-8

■ 言語

日本語

7.2. 配布媒体情報

■ 単位

全国

■ 媒体名

下記サイトよりダウンロード。下記サイトでは、国土数値情報を無償で一般公開している。

国土数値情報ダウンロードサービス(JPGIS 形式)

URL: <https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/>

8. メタデータ

本製品仕様書のメタデータは、JMP2.0 を採用する。

国土数值情報(災害危険区域)製品仕様書 第 1.2.1 版

付属資料

1. 符号化仕様作成のためのタグ一覧

クラス	属性・関連役割	型	タグ名	英語名 (属性・関連役割のみ)
指定地域パッケージ				
災害危険区域パッケージ				
災害危険区域			disasterHazardZone	disaster hazard zone
	都道府県名	CharacterString	prefectureName	prefecture name
	市町村名	CharacterString	cityName	city name
	代表行政コード	行政コード	administrativeAreaCode	administrative area code
	指定主体区分	指定主体コード	managementOrganizationClass	management organization class
	区域名 [0..1]	CharacterString	areaName	area name
	所在地 [0..1]	CharacterString	address	address
	指定理由コード	指定理由コード	reasonForDesignationCode	reason for designation code
	指定理由詳細	CharacterString	reasonForDesignation	reason for designation
	告示年月日 [0..1]	TM_Period	dateOfPublicNotice	date of public notice
	告示番号 [0..1]	CharacterString	numberOfPublicNotice	number of public notice
	根拠条例 [0..1]	CharacterString	underlyingRules	underlying rules
	面積 [0..1]	Decimal	area	area
	縮尺 [0..1]	CharacterString	scaleOfTheOriginalMaterial	scale of the original material
	その他 [0..1]	CharacterString	remarks	remarks
災害危険区域(面)			disasterHazardZonePolygon	disaster hazard zone polygon
	範囲	GM_Surface	bounds	bounds
災害危険区域(点)			disasterHazardZonePoint	disaster hazard zone point
	地点	GM_Point	position	position

2. 符号化仕様

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<xs:schema xmlns:ksj="http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/schemas/ksj-app"
  xmlns:gml="http://www.opengis.net/gml/3.2"
  xmlns:xs="http://www.w3.org/2001/XMLSchema"
  targetNamespace="http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/schemas/ksj-app"
  elementFormDefault="qualified" version="1.1">
  <!-- 外部参照 -->
  <xs:import namespace="http://www.opengis.net/gml/3.2"
    schemaLocation="http://schemas.opengis.net/gml/3.2.1/gml.xsd" />
  <!-- 基底要素 -->
  <xs:element name="Dataset">
    <xs:complexType>
      <xs:complexContent>
        <xs:extension base="gml:AbstractFeatureType">
          <xs:choice minOccurs="0" maxOccurs="unbounded">
            <xs:element ref="gml:AbstractGML" />
            <xs:element ref="gml:CompositeValue" />
          </xs:choice>
        </xs:extension>
      </xs:complexContent>
    </xs:complexType>
  </xs:element>
  <!-- 要素定義 -->
  <xs:element name="disasterHazardZone"
    type="ksj:disasterHazardZoneType" abstract="true"
    substitutionGroup="gml:AbstractFeature" />
  <xs:complexType name="disasterHazardZoneType">
    <xs:annotation>
      <xs:documentation>災害危険区域</xs:documentation>
    </xs:annotation>
    <xs:complexContent>
      <xs:extension base="gml:AbstractFeatureType">
        <xs:sequence minOccurs="1" maxOccurs="1">
          <xs:element name="prefectureName" type="xs:string">
            <xs:annotation>
              <xs:documentation>都道府県名</xs:documentation>
            </xs:annotation>
          </xs:element>
        </xs:sequence>
      </xs:extension>
    </xs:complexContent>
  </xs:complexType>

```

```
<xs:element name="cityName" type="xs:string">
  <xs:annotation>
    <xs:documentation>市町村名</xs:documentation>
  </xs:annotation>
</xs:element>
<xs:element name="administrativeAreaCode" type="gml:CodeType">
  <xs:annotation>
    <xs:documentation>代表行政コード</xs:documentation>
    <xs:appinfo>
      <gml:defaultCodeSpace>AdministrativeAreaCode.xml</gml:defaultCodeSpace>
    </xs:appinfo>
  </xs:annotation>
</xs:element>
<xs:element name="managementOrganizationClass"
  type="ksj:CodeOfManagementOrganizationClassType">
  <xs:annotation>
    <xs:documentation>指定主体区分</xs:documentation>
  </xs:annotation>
</xs:element>
<xs:element name="areaName" type="xs:string" minOccurs="0">
  <xs:annotation>
    <xs:documentation>区域名</xs:documentation>
  </xs:annotation>
</xs:element>
<xs:element name="address" type="xs:string" minOccurs="0">
  <xs:annotation>
    <xs:documentation>所在地</xs:documentation>
  </xs:annotation>
</xs:element>
<xs:element name="reasonForDesignationCode"
  type="ksj:ReasonForDesignationCodeType">
  <xs:annotation>
    <xs:documentation>指定理由コード</xs:documentation>
  </xs:annotation>
</xs:element>
<xs:element name="reasonForDesignation" type="xs:string">
  <xs:annotation>
    <xs:documentation>指定理由詳細</xs:documentation>
  </xs:annotation>
</xs:element>
```

```

<xs:element name="dateOfPublicNotice" type="gml:TimeInstantPropertyType"
  minOccurs="0">
  <xs:annotation>
    <xs:documentation>告示年月日</xs:documentation>
  </xs:annotation>
</xs:element>
<xs:element name="numberOfPublicNotice" type="xs:string" minOccurs="0">
  <xs:annotation>
    <xs:documentation>告示番号</xs:documentation>
  </xs:annotation>
</xs:element>
<xs:element name="underlyingRules" type="xs:string" minOccurs="0">
  <xs:annotation>
    <xs:documentation>根拠条例</xs:documentation>
  </xs:annotation>
</xs:element>
<xs:element name="area" type="xs:decimal" minOccurs="0">
  <xs:annotation>
    <xs:documentation>面積</xs:documentation>
  </xs:annotation>
</xs:element>
<xs:element name="scaleOfTheOriginalMaterial" type="xs:string" minOccurs="0">
  <xs:annotation>
    <xs:documentation>縮尺</xs:documentation>
  </xs:annotation>
</xs:element>
<xs:element name="remarks" type="xs:string" minOccurs="0">
  <xs:annotation>
    <xs:documentation>その他</xs:documentation>
  </xs:annotation>
</xs:element>
</xs:sequence>
</xs:extension>
</xs:complexContent>
</xs:complexType>
<xs:complexType name="disasterHazardZonePropertyType">
  <xs:sequence minOccurs="0">
    <xs:element ref="ksj:disasterHazardZone" />
  </xs:sequence>
  <xs:attributeGroup ref="gml:AssociationAttributeGroup" />

```

```

    <xs:attributeGroup ref="gml:OwnershipAttributeGroup" />
</xs:complexType>
<xs:complexType name="disasterHazardZoneMemberType">
  <xs:complexContent>
    <xs:extension base="gml:AbstractMemberType">
      <xs:sequence minOccurs="0">
        <xs:element ref="ksj:disasterHazardZone" />
      </xs:sequence>
      <xs:attributeGroup ref="gml:AssociationAttributeGroup" />
    </xs:extension>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>
<!--災害危険区域(面)-->
<xs:element name="disasterHazardZonePolygon"
  type="ksj:disasterHazardZonePolygonType" substitutionGroup="ksj:disasterHazardZone" />
<xs:complexType name="disasterHazardZonePolygonType">
  <xs:annotation>
    <xs:documentation>災害危険区域(面)</xs:documentation>
  </xs:annotation>
  <xs:complexContent>
    <xs:extension base="ksj:disasterHazardZoneType">
      <xs:sequence minOccurs="1" maxOccurs="1">
        <xs:element name="bounds" type="gml:SurfacePropertyType">
          <xs:annotation>
            <xs:documentation>範囲</xs:documentation>
          </xs:annotation>
        </xs:element>
      </xs:sequence>
    </xs:extension>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>
<xs:complexType name="disasterHazardZonePolygonPropertyType">
  <xs:sequence minOccurs="0">
    <xs:element ref="ksj:disasterHazardZonePolygon" />
  </xs:sequence>
  <xs:attributeGroup ref="gml:AssociationAttributeGroup" />
  <xs:attributeGroup ref="gml:OwnershipAttributeGroup" />
</xs:complexType>
<xs:complexType name="disasterHazardZonePolygonMemberType">
  <xs:complexContent>

```

```

    <xs:extension base="gml:AbstractMemberType">
      <xs:sequence minOccurs="0">
        <xs:element ref="ksj:disasterHazardZonePolygon" />
      </xs:sequence>
      <xs:attributeGroup ref="gml:AssociationAttributeGroup" />
    </xs:extension>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>
<!--災害危険区域(点)-->
<xs:element
  name="disasterHazardZonePoint"
  type="ksj:disasterHazardZonePointType"
  substitutionGroup="ksj:disasterHazardZone" />
<xs:complexType name="disasterHazardZonePointType">
  <xs:annotation>
    <xs:documentation>災害危険区域(点)</xs:documentation>
  </xs:annotation>
  <xs:complexContent>
    <xs:extension base="ksj:disasterHazardZoneType">
      <xs:sequence minOccurs="1" maxOccurs="1">
        <xs:element name="position" type="gml:PointPropertyType">
          <xs:annotation>
            <xs:documentation>地点</xs:documentation>
          </xs:annotation>
        </xs:element>
      </xs:sequence>
    </xs:extension>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>
<xs:complexType name="disasterHazardZonePointPropertyType">
  <xs:sequence minOccurs="0">
    <xs:element ref="ksj:disasterHazardZonePoint" />
  </xs:sequence>
  <xs:attributeGroup ref="gml:AssociationAttributeGroup" />
  <xs:attributeGroup ref="gml:OwnershipAttributeGroup" />
</xs:complexType>
<xs:complexType name="disasterHazardZonePointMemberType">
  <xs:complexContent>
    <xs:extension base="gml:AbstractMemberType">
      <xs:sequence minOccurs="0">

```

```

        <xs:element ref="ksj:disasterHazardZonePoint" />
    </xs:sequence>
    <xs:attributeGroup ref="gml:AssociationAttributeGroup" />
</xs:extension>
</xs:complexContent>
</xs:complexType>
<!-- コードリスト-->
<xs:simpleType name="CodeOfManagementOrganizationClassType">
    <xs:annotation>
        <xs:documentation>指定主体コード</xs:documentation>
    </xs:annotation>
    <xs:union
        memberTypes="ksj:CodeOfManagementOrganizationClassEnumType
ksj:CodeOfManagementOrganizationClassOtherType" />
</xs:simpleType>
<xs:simpleType name="CodeOfManagementOrganizationClassEnumType">
    <xs:restriction base="xs:string">
        <xs:enumeration value="1">
            <xs:annotation>
                <xs:appinfo>
                    <gml:description>都道府県</gml:description>
                </xs:appinfo>
            </xs:annotation>
        </xs:enumeration>
        <xs:enumeration value="2">
            <xs:annotation>
                <xs:appinfo>
                    <gml:description>市町村</gml:description>
                </xs:appinfo>
            </xs:annotation>
        </xs:enumeration>
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>
<xs:simpleType name="CodeOfManagementOrganizationClassOtherType">
    <xs:restriction base="xs:string">
        <xs:pattern value="other: ¥w{2,}" />
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>
<xs:simpleType name="ReasonForDesignationCodeType">
    <xs:annotation>

```

```

        <xs:documentation>指定理由コード</xs:documentation>
    </xs:annotation>
    <xs:union
        memberTypes="ksj:ReasonForDesignationCodeEnumType
ksj:ReasonForDesignationCodeOtherType" />
</xs:simpleType>
<xs:simpleType name="ReasonForDesignationCodeEnumType">
    <xs:restriction base="xs:string">
        <xs:enumeration value="1">
            <xs:annotation>
                <xs:appinfo>
                    <gml:description>水害(河川)</gml:description>
                </xs:appinfo>
            </xs:annotation>
        </xs:enumeration>
        <xs:enumeration value="2">
            <xs:annotation>
                <xs:appinfo>
                    <gml:description>水害(海)</gml:description>
                </xs:appinfo>
            </xs:annotation>
        </xs:enumeration>
        <xs:enumeration value="3">
            <xs:annotation>
                <xs:appinfo>
                    <gml:description>水害(河川・海)</gml:description>
                </xs:appinfo>
            </xs:annotation>
        </xs:enumeration>
        <xs:enumeration value="4">
            <xs:annotation>
                <xs:appinfo>
                    <gml:description>急傾斜地崩壊等</gml:description>
                </xs:appinfo>
            </xs:annotation>
        </xs:enumeration>
        <xs:enumeration value="5">
            <xs:annotation>
                <xs:appinfo>
                    <gml:description>地すべり等</gml:description>

```

```

        </xs:appinfo>
      </xs:annotation>
    </xs:enumeration>
    <xs:enumeration value="6">
      <xs:annotation>
        <xs:appinfo>
          <gml:description>火山被害</gml:description>
        </xs:appinfo>
      </xs:annotation>
    </xs:enumeration>
    <xs:enumeration value="7">
      <xs:annotation>
        <xs:appinfo>
          <gml:description>その他</gml:description>
        </xs:appinfo>
      </xs:annotation>
    </xs:enumeration>
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>
<xs:simpleType name="ReasonForDesignationCodeOtherType">
  <xs:restriction base="xs:string">
    <xs:pattern value="other: ¥w{2,}" />
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>
</xs:schema>

```